

桜が丘東グループホーム 地域連携推進会議 会議録

【開催日】

- ・令和8年3月21日（土）

【場所】

- ・桜が丘東グループホーム

【参加者】

- ・A様（利用者）
- ・B様（利用者家族）
- ・C様（地域の方）
- ・岡本奈緒（桜が丘東グループホーム管理者）

.....

【開会・挨拶】

- ・管理者より、開会の挨拶を行い、初回開催であることから「気軽に参加していただければ嬉しい」と伝えた
- ・会議録作成のために写真を撮影すること、作成した会議録はホームページで公開されることについて説明し、了承を得た

【議題】

1. 参加者自己紹介

- ・会議の流れを説明した後、まず管理者が自己紹介を行い、その後、参加者のみなさんにも順番にひとことずつ自己紹介をお願いした
- ・和やかな雰囲気の中で、それぞれの立場や関わりを共有する時間となった

2. 地域連携推進会議について

- ・地域連携推進会議の手引きを使用し、この会議の目的について説明した
- ・主な内容は「利用者さんと地域とのつながりをつくること」「地域の方に、施設や利用者さんの生活を知っていただくこと」「サービスの透明性や質をしっかりと確保すること」「利用者さんの権利を守ること」であり、地域と施設が協力しながら、利用者さんの暮らしをより良くしていくための場であることを共有した

3. 事業所概要説明

- ・パンフレットを見ながら、共同生活援助と短期入所の概要、職員体制、日々の生活の流れについて説明した
- ・できることを増やすだけでなく、その人らしさを大切にする支援を心がけていることを伝えた

4. 事業所見学

- ・居室や共有スペース、浴室、避難経路などを案内した
- ・居室や共有スペースのつくり、転倒しやすい場所や動線、災害時の避難経路や、課題になりそうな箇所など、見学時のポイントを中心に説明した
- ・実際の生活環境を見ていただきながら、安全面や支援の工夫について理解を深めてもらった

5. 事業所の取組み

- ・日頃の取組みや現在の課題について説明した

○事業所の強み

- ・プライバシーと安心感に配慮した「完全同性支援」を実施
- ・洗濯、掃除、片付けなど、生活スキルをその人のペースに合わせてサポート
- ・小さな挑戦や成長を一緒に喜びながら、自信につながる支援を大切にしていることを説明

○虐待防止・権利擁護

- ・法人内研修や委員会への参加
- ・新聞記事やニュースを題材にした意見交換
- ・権利擁護の視点を日常支援に取り入れていることを共有

○防災

- ・災害BCPに沿った研修・訓練を実施
- ・年2回の防災訓練
- ・市の防災研修会にも参加していることを説明

○感染症対策

- ・年4回の委員会、年1回以上の研修と訓練を実施
- ・過去にクラスターが発生した経験から、無症状感染の判断の難しさを共有
- ・感染者発生時の家族連絡や日中支援事業所の利用調整などの対応
- ・ゾーニングが難しい現状についても説明

○ひやりはっと・事故報告

- ・転倒につながるひやりはっとが増えている状況
- ・てんかん発作やふらつきによる転倒リスク
- ・年齢に伴う身体機能の低下や通院増加により、医療対応の時間が増えていることを共有

○相談・苦情

- ・現在、苦情はないが、「土日祝の開所」「休日の余暇活動」などの要望がある
- ・職員体制や閉所日の関係で難しい面はあるが、外食活動など小さな取組みから進めていきたいと説明

○行事について

- ・外出行事は難しい状況だが、誕生日会や季節のイベント、イベント食などを実施
- ・余暇の過ごし方は、利用者さん同士の交流や個別の時間など、さまざまな形があることを共有

○地域との関り

- ・地域清掃活動やイベント等は日程の関係で参加が難しい状況
- ・今回の会議をきっかけに、地域とのつながりを広げていきたいと説明

6. 意見交換（ご意見、感想、質問）

- ・見学や説明を踏まえ、参加者のみなさんから意見や質問をいただいた

○感想

- ・地域の方から「外からは毎日前を通っていてよく見ていたが、中に入るのは初めて。とてもきれいで、お掃除もしっかりされていると感じた」という声があった
- ・利用者家族から「夜間に職員がいてくれるのは親として安心。少しずつできることが増えていて嬉しい」という意見があった

○質問・意見（外出活動について）

- ・管理者から「もし外出活動をするなら、どこへ行きたいですか？」という質問をした
- ・「どこでも、楽しいところならいい、おいしいものも食べたい」
- ・「美術館もいいけれど、広くて歩く距離が長いとふらつきのある方は大変かな？でも最近は車いすの貸し出しもあるから心配ないかしら」
- ・「映画とかもいいかも」
- ・「みんなでお出かけできたら楽しそう」
- ・「地域のお祭りもいいかもね」
- ・外出先のアイデアが次々と出て、行きたい場所や行事の話で盛り上がった

○質問（食事の準備について）

- ・地域の方から「利用者さんが多い時は10人くらいいると聞いたが、食事の準備は大変では？」との質問があった
- ・以前はすべて手作りで対応しており負担が大きかったが、思い切って調理済み冷凍食品に切り替えたことで職員の負担が軽減したことを説明
- ・冷凍食品に対して「高い・まずい・彩りが悪い」というイメージがあったが、最近の冷凍食品は大きく進化しており「びっくりするほどおいしい」と紹介
- ・利用者さんからも「本当においしい。お肉もお魚も柔らかいし、ボリュームもあっておなかいっぱいになる」との声があった
- ・調理済み冷凍食品や写真付き献立表を見せながら説明した

○その他の意見（洗濯物の干し方について）

- ・開所当時はベランダに洗濯物を干していたが、人通りが多いため現在は部屋干しにしていることを説明
- ・部屋が少し狭く感じることにについて、参加者からは「人通りが多いと心配だから部屋干しのほうが安心」「雨の日の取り込みが大変なので部屋干しは良いと思う」「外に干すと今の時期は花粉もつくしね」といった意見が寄せられた

○まとめ

- ・外出活動の希望、食事の工夫、生活環境の配慮など、参加者からさまざまな視点で意見や質問が寄せられ、安全面や支援内容、日々の暮らしに関する幅広い意見交換が行われた

【閉会・挨拶】

- ・管理者より、利用者さんが「楽しい」と感じられる日々を大切に、小さな一歩を積み重ねながら成長を支えていく姿勢を改めて伝え、閉会の挨拶を行った
- ・撮影した写真をその場で確認し、ホームページ掲載について参加者から許可を得たことを共有した
- ・地域連携推進会議は年1回の開催を予定しており、次年度も引き続き協力をお願いした

